

大阪成蹊短期大学栄養学科と大阪ガスが共催で9回目の食育シンポジウムを開催しました。

昨年度は開催できませんでしたが、今回は感染症予防対策の下、未来の子どもたちの健やかな成長を願って、“弁当の日”の提唱者である竹下和男氏の講演と「弁当の日」ドキュメンタリー映画を上映。主催者である大阪成蹊短期大学、Daigasグループの食育活動を紹介。同時に「こども茶屋」で大学生20名と子ども達がガスを使って和菓子を作り、参加の皆さまへおみやげとして渡されました。

多彩で充実した内容の有意義なシンポジウムを体験していただき、好評を博しました。

【“弁当の日”】2001年、香川県にある滝宮小学校が始めた食育実践で、子どもが自分でお弁当を作って登校する取り組み。お弁当作りは5・6年生が対象で、献立・買い出し・調理・弁当箱詰め・片付けまでを全部子どもひとりでいきます。

【ドキュメンタリー映画「弁当の日」】“弁当の日”をきっかけに、「してもらう側」から「する側」へ成長するチャンスを得た子どもたちの笑顔と涙、「してやるだけが子育てじゃない」と気付く大人たちのドラマを描いた作品。

【開催概要】

■日時：2021年12月4日（土）12:20～16:30

■参加：48名 + (Let's! 和ごはんこども茶屋：20名)

■内容：・開会あいさつ：(大阪成蹊短期大学 紺野学長)

・基調講演：「子どもたちの成長につながる“弁当の日”」

講師 “弁当の日” 提唱者 竹下和男氏

・事例紹介：「大阪成蹊短期大学の食育活動」・「Daigasグループの食育活動」

・映画上映：「弁当の日」

・意見交換

■主催：大阪成蹊短期大学、大阪ガス株式会社

■後援：大阪市東淀川区、大阪府PTA協議会、大阪市PTA協議会、大阪市教育委員会、東大阪市教育委員会、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、吹田市教育委員会、高槻市教育委員会、箕面市教育委員会、摂津市教育委員会、島本町教育委員会、豊能町教育委員会、能勢町教育委員会、川西市教育委員会、公益社団法人大阪府栄養士会 産経新聞社 (順不同)

■協賛：株式会社伊藤園

■参加された方からのご感想

(竹下先生・“弁当の日”について)

- ・子どもが自力で“ご飯を作る”事で世の中の多くの問題が解決するという事実にビックリしました。
- ・食べることの意味、家族と一緒に食べること、仲間と一緒に食べることの大切さを改めて感じました。
- ・料理、弁当作りを通じた子どもたちの成長や変化が見られて最高でした。

(大阪成蹊短期大学の皆さまへ)

- ・食に関する取り組みが素晴らしく、学生さん達の雰囲気から校風の良さがよく分かりました。
- ・子ども茶屋のお手伝いをして下さった学生さん皆さんが笑顔でとても優しく丁寧に接して下さい、子ども達も楽しく過ごせました。

(大阪ガスへ)

- ・社会貢献としての大阪ガスの食育活動、内容がよく理解できました。参加してみたい。
- ・食育に熱心であることを知り感心しました。社会をより良くする取り組みを今後も企画してください。



※こども茶屋参加費は、Daigasグループ“小さな灯”運動を通じて「あしなが育英会」へ寄付し、東日本大震災遺児の心の傷を癒す施設として竣工した「レインボーハウス (仙台 石巻 陸前高田)」の運営資金に役立てていただきます。

【問合せ先】大阪ガス(株)事業基盤部ネットワークカンパニー 事業基盤部コミュニティ企画チーム 大石ひとみ (06-6205-4545)